

2017年度派遣 公共政策学教育部 ダブル・ディグリー生募集要項

注:WB, ADB, IMFの奨学生においてはEx. DDともに対象外となります。注2: 要項のさらなる詳細は以下のウェブサイトをご確認ください。http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/international/fe_program.htm

協定校	 SIPA School of International and Public Affairs Columbia University コロンビア大学 国際公共政策大学院 (SIPA)	 Lee Kuan Yew School of Public Policy シンガポール国立大学(NUS) リー・クワンユー公共政策大学院 (LKY-SPP)	 Hertie School of Governance ヘルティエ・スクール・オブ・ガバナンス (HSoG)	 THE LONDON SCHOOL OF ECONOMICS AND POLITICAL SCIENCE ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE)	 Australian National University オーストラリア国立大学 クロフォード公共政策大学院 (ANU-CRWF)	 SciencesPo SCHOOL OF PUBLIC AFFAIRS パリ政治学院(シアンスポ) (Sciences Po.)
	http://www.sipa.columbia.edu/	http://www.spp.nus.edu.sg/	http://www.hertie-school.org/	http://www.lse.ac.uk/home.aspx	https://crawford.anu.edu.au/	http://www.sciencespo.fr/
所在地	アメリカ合衆国、ニューヨーク	シンガポール	ドイツ、ベルリン	英国、ロンドン	キャンベラ、オーストラリア	フランス、パリ
募集締切	2016年11月20日(日)まで(厳守)					2017年3月初旬予定(TBA)
募集人数	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	3~5名
派遣期間 *派遣人数によって期間 が変わります	2017年9月~2018年5月 Academic Year 2017-2018	2017年8月~2018年5月 Academic Year 2017-2018	2017年9月~2018年5月 Academic Year 2017-2018	2017年9月~2018年5月 Academic Year 2017-2018	2017年7月~2018年6月 Academic Year 2017-2018	2017年9月~2018年5月 Academic Year 2017-2018
東大での身分	「留学」					
派遣先での身分	正規学生(degree student)					
授業料	派遣期間中は派遣先で授業料を納入。東大では不徴収。					
単位認定	東大で「留学」の場合は、単位認定申請により認められた場合は23単位を超えない範囲で認定。					
奨学金制度	1. 東京大学海外派遣奨学事業2017年度海外留学等奨学金 への申請可 2. 留学生交流支援制度(短期派遣)(JASSO) への申請可 3. 留学生交流支援制度(長期派遣)(JASSO) への申請可 4. 公共政策大学院国際化推進プログラム寄付金奨学制度 への申請可 **支給は審査合格者のみ					
	※TOEFL(iBT)スコアについて: 東京大学公共政策教育部での書類審査においてダブルディグリー制度の留学希望者に求める点数は、TOEFL(iBT)最低 90点以上必須。					
派遣資格	①東京大学公共政策学教育部正規課程に 在籍する学生 ②TOEFL iBT 100点以上 ③派遣時点において基礎的なミクロ経済・ マクロ経済を履修済みの者 ④GRE受験必須 (SIPA申請時2月初旬までに提出) ⑤職業経験のある学生は優先される	①東京大学公共政策学教育部正規課程に 在籍する学生 ②TOEFL iBT 100点以上 ③派遣時において基礎的な数学及び経済学を 履修済みの者が望ましい ④職業経験のある学生は優先される	①東京大学公共政策学教育部正規課程に 在籍する学生 ②TOEFL iBT 100点以上 ③MPP/IPコースに所属しているものが望まし い ④派遣時にコア科目が履修済である者	①東京大学公共政策学教育部正規課程に 在籍する学生でMPP/IPコースに所属している(も しくはMPP/IPに転コース予定の)者 ②IELTS 7.0(最低でも両分野共6.0)以上、 あるいはTOEFL iBT 107点 (Writing>21、他3分 野>20)以上。 ③派遣時にMPP/IPのコア科目含む最低24単位 を 履修済みである者	①東京大学公共政策学教育部正規課程に 在籍する学生でMPP/IPコースに所属している(もし くはMPP/IPコースに転コース予定の)者 ②IELTS 6.5(最低でも両分野共6.0)以上かTOEFL iBT 90点以上 ③MPPコースは最低3年の公共セクターの職務経 験が必須。MPAコースは何かしらの職業経験(イン ターンシップやボランティア含)が必須 ④7月20日までにSセメスターを修了し渡航可能な 者(*履修や試験日程調整においては全て自己責任に による)	①東京大学公共政策学教育部正規課程に4月より在籍 が決まっている学生、及び2017年9月からのMPP/IPコー スを受験予定で、シアンスポとのダブルディグリーを希望 する者(MPP/IPのみにも別途応募可能) *尚、すでに公共政策学教育部の正規課程に所属している学生 の今期応募については要相談 ②最低 TOEFL iBT 100点かIELTS 7.0(サブスコア6.5) 以上 ③職業経験のある学生は優先される
単位換算 (※コア科目については 例外あり)	SIPA 3points = UT2単位	LKY 4MSc = UT3単位	Hertie 6 credits (ECTS) = UT 4単位	LSE 1 units = UT 6単位	Crawford School 6 credits = UT 3 単位	TBC
応募書類 公共政策学教育部提出 用	①ダブルディグリー留学申請調書 および 第3希望までの各校の志望動機書(500~1,000字) ②TOEFL成績証明書(原本又は写) *過去2年以内に受験したものに限り。 ③最新の成績証明書(和文・コピー可) ④GraSPP側での面接合格者には、成績証明書の原本(英文)と教員の推薦状(英文)提出を求めますので事前にご準備ください。 ***各大学への提出書類は合格者に直接通知する。					応募書類は全てオンライン申請ページにアップロードして ください。シアンスポオンライン申請ページリンク
応募書類提出方法 提出先	応募書類は電子データで提出してください。 電子データ提出先: exchange@pp.u-tokyo.ac.jp 東京大学大学院公共政策学教育部 国際企画チーム 交換留学プログラム担当 ※メールのタイトルは"2015 Exchange Study Application (Your first name FAMILY NAME)"としてください。お名前はローマ字、姓は大文字にしてください。					
問い合わせ先	〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大学第二本部棟629号室 国際企画チーム交換留学プログラム担当 exchange@pp.u-tokyo.ac.jp 03-5841-0220					〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大学第二本部棟629号室 大学院係入試担当 mppip@u-tokyo.ac.jp 03-5841-1349
	GraSPP募集締切:2016年11月20日(日)厳守 書類選考:11月下旬 GraSPP教員の面接:12月7日~9日(予定) (※面接日程の詳細は書類選考通過者には数日前までにメールにて通知) GraSPP側での合格者決定:12月中旬 派遣先への書類送付:1月下旬~2月上旬					(シアンスポとのダブル・ディグリー合同入試扱いとして) 募集締切:2017年3月初旬予定(TBA)

2017年度派遣 公共政策学教育部 ダブル・ディグリー生募集要項

注:WB, ADB, IMFの奨学生においてはEx, DDともに対象外となります。注2: 要項のさらなる詳細は以下のウェブサイトをご確認ください。http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/international/fe_program.htm

協定校	 SIPA School of International and Public Affairs Columbia University コロンビア大学 国際公共政策大学院 (SIPA)	 Lee Kuan Yew School of Public Policy シンガポール国立大学(NUS) リー・クワンユー公共政策大学院 (LKY-SPP)	 Hertie School of Governance ヘルティエ・スクール・オブ・ガバナンス (HSoG)	 LSE THE LONDON SCHOOL OF ECONOMICS AND POLITICAL SCIENCE ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE)	 Australian National University オーストラリア国立大学 クローフォード公共政策大学院 (ANU-CRWF)	 SciencesPo SCHOOL OF PUBLIC AFFAIRS パリ政治学院(シアンスポ) (Sciences Po.)
スケジュール(目安) (予定は変更される場合があります)	SIPAへの書類提出:1月下旬~2月上旬 SIPAへのオンライン申請:2月下旬 SIPAより合格者決定:3月上旬 ビザ手続き、その他準備:3~7月 出発:7~8月 オリエンテーション 8月末 授業開始:9月初旬 ALP program: English for Professional Purposes: International and Public Affairs 英語集中コース: 7月下旬より3週間程、受講することが求められる ことがあります。 http://ce.columbia.edu/American-Language-Program GraSPP側でSIPA DDで合格した学生は、GREスコアを2月上旬までに提出できるように、早めに準備をしてください。	LKY-SPPへの書類送付:1月下旬~2月上旬 LKY-SPPより合格者決定:3月上旬~4月上旬 LKY-SPPへの入学手続き書類提出:4月中旬 (直接郵送) ビザ手続き、その他準備:3~7月 オリエンテーション:8月上旬 授業開始:8月中旬	HSoGへの書類送付:1月下旬~2月上旬 HSoGより合格者決定:2月~3月 ビザ手続き、その他準備:3~8月 出発:8月下旬 オリエンテーション:8月末~ 授業開始:9月上旬	LSEへの書類送付:1月下旬~2月上旬 LSEより合格者決定:2月~3月 ビザ手続き、その他準備:3~8月 出発:9月初旬 オリエンテーション:9月中旬 授業開始:9月下旬	・ANU-CRWFへの申請書類提出/オンライン申請: 2月中 ・ANU-CRWFより合格者決定:3月中 ・ANU-CRWFへの入学手続き書類提出:4月中 ・ビザ手続き、その他準備:3月~7月 ・出発:遅くとも7月20日まで ・オリエンテーション:7月21日~23日 ・授業開始:7月24日 ※調整中	シアンスポとの合同書類選考:4月初旬 シアンスポとの合同面接:4月中旬 (※面接日程の詳細は書類選考通過者には数日前までにメールにて通知) 合格者決定:4月下旬 最終合格者決定:5月下旬~6月上旬 シアンスポへの入学手続き書類提出:6月 ビザ手続き、その他準備:5月~8月 出発:8月下旬 オリエンテーション:8月末~9月上旬 授業開始:9月上旬 (注:フランス学生ビザの申請に必要となるため、合格決定後すぐにまず住居の確保をし、ビザ申請は7月中に済ませることを強くお勧めします。) ※ビザ申請の方法:フランス大使館領事部にてビザの申請をする前にCampus Franceにてオンライン申請が必要になります。オンライン申請後、キャンパスフランスのアカウント番号を国際企画チームご連絡ください。団体予約の申請を行うことが可能です。 www.japon.campusfrance.org
注意事項	GraSPP側で合格された方は、以下の書類が必要になりますので、早めに準備を始めるようにしてください。 Resume/CV Personal Statement Recommendation Letters (1~2通) Academic Transcripts (学部・大学院) SIPA, LKY, SciencesPo.様式のapplication form 等 ※派遣先大学への手続きは年度により変更となることがありますので、最新の情報については派遣先大学からの指示を待ってください。					

大学別応募要領

特色	コロンビア大学公共政策大学院は、グローバル金融や経済、公衆衛生、気候変動、エネルギー、開発やサステナビリティと言った問題領域に焦点を当てた世界で最もグローバルな公共政策大学院である。これら全ての問題は益々国境を超えた空間を占有し、地球規模の共有物、公共財、そして集団行動の課題を示しているとも言えるだろう。 The Master of International Affairs (MIA) and Master of Public Administration (MPA) は、国境を越えた複雑な問題を理解した上で、現実社会において組織を管理できる専門家を養成するためのカリキュラムを組んでいる。 http://issuu.com/columbiauniversitysipa/docs/sipa_mia_-_mpa_brochure	リー・クワンユー公共政策大学院は、常にアジア及び世界ランクトップに選ばれているシンガポール国立大学に属する大学院である。2014年には、世界中の大学ランキング情報誌QSによってアジアトップ、更には世界ランク22位と称された。 また、アジアで初めてグローバル公共政策ネットワークに参加した大学院でもあり、2年間のMaster in Public Policy (MPP)プログラムでは、政策分析、プログラム評価や管理における強い基盤を構築するための厳しいトレーニングを実施している。	ヘルティエ・スクール・オブ・ガバナンス (HSoG) は、ドイツ国内で初めて設立された公共政策学の専門職大学院である。2005年には、「設立以来めざましく発展している。学位取得のための国際的な学生交流プログラムも立ち上げ、教員と学生との関係も模範的である」としてドイツ学術評議会 (Wissenschaftsrat) から評価された。 2年制のMaster of Public Policy (MPP)プログラムは、2005年9月の発足以来年々著しい成長を遂げており、更なるグローバル化に力を入れている。	ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (London School of Economics and Political Science, LSE) は、ロンドン中心部オールドウィッチにキャンパスを構える、社会科学に特化した、ロンドン大学を構成する研究・教育機関である。ロンドン大学を構成する大学の中では、理系に特化したImperial College Londonと並んで最難関とされている。経済学が特に有名で、非アメリカでありながら世界トップレベルの研究・教育を誇り異彩を放つ。また国際関係学、社会学、社会政策学など多くの学問分野を開拓するなど、経済学のみならず社会科学全般において多大な貢献をしている。近年においては、NGOの運営に関する研究や環境経営学などの分野においてバイオニック的な存在となっている。	オーストラリア国立大学のクローフォード公共政策大学院はアジア・環太平洋学群において一流の公共政策大学院である。教員と学生は研究、教育、そして政策従事を通して公共政策を形作る本質的な役割を担っている。 また、クローフォード公共政策大学院は地域の重要な研究者にとってのホームグラウンドであり、その多くは政府委員会へ積極的に参加しているだけでなく、政府機関やビジネス、民間に渡り助言役の鍵となっている。 学生においても地域の一流公共政策コミュニティの重要メンバーとして、現在世界中に衝撃を与えている水、食料、エネルギー、経済成長、環境、政治問題のような難しい課題への取り組みに積極的に貢献している。	フランス独自の制度、グランセコール (エリート養成のために国家が設置している高等教育研究機関) で即戦力となる幹部公務員や企業幹部の養成を目的としている。9つあるシアンスポのうち、パリが一番古く、別格で、歴代フランス大統領などを数多く輩出してきたことで知られる。 新設された新しい部局 (School of Public Affairs)の下、MPA(Master of Public Affairs)プログラムからMPP(Master of Public Policy)プログラムへと改変された。この2年制のDual Master(DD)プログラムは、国内外の民間や公共の間を渡り歩く若きプロフェッショナル向けに、今や多文化化した価値観や倫理、文化背景などにも包括的に対応出来るよう、経済や公共事業分野だけでなく社会変革やサステナビリティなど多岐にわたる分野を提供している。また、学年毎によるコホート制 (全員1年目はシアンスポ、2年目がGraSPP) を導入する事により仲間意識やネットワーク強化を目指す。よって、GraSPPからの派遣生選考も先方と共同で行われる。前年度までと違い、職業経験やフランス語の知識などは特に問われる事もなく、更には学費を多少引き下げる事で門戸を広げた。
参考HP	http://www.sipa.columbia.edu/	http://www.spp.nus.edu.sg/	http://www.hertie-school.org/	http://www.lse.ac.uk/home.aspx	https://crawford.anu.edu.au/	http://master.sciences-po.fr/en/content/school-public-affairs

2017年度派遣 公共政策学教育部 ダブル・ディグリー生募集要項

注:WB, ADB, IMFの奨学生においてはEx, DDともに対象外となります。注2: 要項のさらなる詳細は以下のウェブサイトをご確認ください。http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/international/fe_program.htm

協定校	 コロンビア大学 国際公共政策大学院 (SIPA)	 シンガポール国立大学(NUS) リー・クワンユー公共政策大学院 (LKYSPP)	 ヘルティエ・スクール・オブ・ガバナンス (HSoG)	 ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE)	 オーストラリア国立大学 クロフォード公共政策大学院 (ANU-CRWF)	 パリ政治学院(シアンスポ) (Sciences Po.)						
趣旨と前提条件	①この留学制度は、東京大学大学院公共政策学教育部に在籍中の学生が対象です(来年度から入学が決まっている学生も応募することができます)。なお、この留学制度の趣旨は、英語を上達させるための語学留学ではなく、すでに基礎学力があり、高い語学力を生かし学術研究をすることが出来る学生が、東京大学公共政策学教育部とは異なる環境で学習し、学位を取ることです。その趣旨を十分ご理解の上、応募ください。おもな前提条件は、TOEFL100点、大学によってはミクロ・マクロ経済学の、又は経済学と数学の最低基礎レベル(学部で学習済みでも可)を履修済みであることです。それは、一年時にミクロ経済学、またはミクロ・マクロ経済学の履修を義務付けているので、対等の基礎学力を前提とするためです。 ②これらの基準をクリアしていても、スタートアップ講習等の補習が必要と派遣先大学が判断した場合には、補修を受けなければならない場合があります。その場合の費用は自己負担です。 ③派遣先大学への入学手続き、ビザの申請、宿舎の準備、単位認定の調査・申請等、留学に係るすべての手続き及び準備は自己の責任において行ってください。 ④留学のために発生する費用はすべて自己で負担していただきます。											
履修済み前提	派遣時点において、Micro for Public Policy, もしくはMicroeconomics, Macro for Public Policy もしくはMacroeconomics, Statisticsの履修済みが望ましい。											
留学中の身分と授業料	このダブルディグリー留学制度では、東京大学においては、「留学」という身分で、協定大学へ留学。派遣先大学では、正規学生となります。双方の条件をみれば、協定大学と東京大学の両方の学位を取ることが出来ます。留学期間中の授業料は留学先の協定大学へ納め、2016年冬学期および2017年夏は東京大学への授業料は納入しません。											
単位認定・振替えについて	本人の申請により、帰国後に協定大学において履修した科目を東京大学において単位認定する予定です。内容、授業時間、単位数等を東京大学の規則に則り認定の可否を審議しますので、すべての単位が認定されるわけではありません。修了要件を満たすためにしっかりとスケジュールを立て、取りたいクラスが決まった時点で事前認定申請をし東大で認定可能かどうかを確認するようにしてください。派遣確定後、履修計画を立て、Academic Advisorとの確認作業を行ってください。											
留学のモデルコース	<p style="text-align: center;">次のようなモデルコースが考えられます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 16.6%; padding: 5px;"> 留学期間は、1年間です。SIPAの授業期間は、秋学期は9月第1週より12月まで、春学期は1月下旬から5月です。GraSPPとして以下のコースを推薦しています。 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の秋学期から1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年半GraSPPに在籍。2年生の9月(秋学期)から1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※4月入学者が、計2年間でDDを修了するコースは基本GraSPPとしては推奨していませんが、詳細を知りたい場合は個別にご相談下さい。 </td> <td style="width: 16.6%; padding: 5px;"> 留学期間は、1年間です。LKYSPPの授業期間は、秋学期は8月第2週より12月まで、春学期は1月上旬から5月上旬までです。 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の秋学期から1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年半GraSPPに在籍。2年生の9月(秋学期)から1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※4月入学者が、計2年間でDDを修了するコースは基本GraSPPとしては推奨していませんが、詳細を知りたい場合は個別にご相談下さい。 </td> <td style="width: 16.6%; padding: 5px;"> 留学期間は、1年間です。HSoGの授業期間は、秋学期は、9月第1週より12月まで、春学期は、1月下旬から5月です。 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の秋学期から1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年半GraSPPに在籍。2年生の9月(秋学期)から1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※GraSPPに1年間在籍し、コア科目の履修を全て終えていることが必須条件となります。 </td> <td style="width: 16.6%; padding: 5px;"> 留学期間は、1年間です。LSEの授業期間は3ターム制で、9月～12月がMichaelmasターム、1月～3月日がLentターム、4月～6月がSummerタームです。尚、10月31日と2月13日から読解週間を設けている部局有。 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の秋学期から1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年半GraSPPに在籍。2年生の9月(秋学期)から1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※GraSPPに1年間在籍し、全コア科目含め24単位以上を取り終えていることが必須条件となります。 </td> <td style="width: 16.6%; padding: 5px;"> 留学期間は、1年間です。ANU-CRWFの授業期間は、学期2は7月第3週より11月末まで、学期1は2月から6月までです。(派遣生は遅くとも授業開始までに渡航する必要が有るが、東大での試験日程等の調整は自己責任。) (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の夏休みから1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年3カ月GraSPPに在籍。2年生の夏休みから1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※4月入学者が、計2年間でDDを修了するコースは基本GraSPPとしては推奨していませんが、詳細を知りたい場合は個別にご相談下さい。 </td> <td style="width: 16.6%; padding: 5px;"> 留学期間は原則1年次の1年間です。Sciences Po.の授業期間は、秋学期は、9月第1週より12月まで、春学期は、1月下旬から5月です。 【2016年4月入学の場合】 4月(春学期)に東京大学に入学後、半年間GraSPPに在籍。1年生の9月(秋学期)から1年間留学し、2年生の秋学期を再びGraSPPで過ごし、計2年で修了可。 【2016年9月入学の場合】 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学後、すぐに留学し1年目をSciences Poにて過ごし、2年生の秋学期から1年間GraSPPに在籍し、計2年で修了可。 ※すでにGraSPPに在籍している学生が、2年次にシアンスポへのDD留学を希望する場合は、個別にご相談下さい。 </td> </tr> </table>						留学期間は、1年間です。SIPAの授業期間は、秋学期は9月第1週より12月まで、春学期は1月下旬から5月です。GraSPPとして以下のコースを推薦しています。 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の秋学期から1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年半GraSPPに在籍。2年生の9月(秋学期)から1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※4月入学者が、計2年間でDDを修了するコースは基本GraSPPとしては推奨していませんが、詳細を知りたい場合は個別にご相談下さい。	留学期間は、1年間です。LKYSPPの授業期間は、秋学期は8月第2週より12月まで、春学期は1月上旬から5月上旬までです。 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の秋学期から1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年半GraSPPに在籍。2年生の9月(秋学期)から1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※4月入学者が、計2年間でDDを修了するコースは基本GraSPPとしては推奨していませんが、詳細を知りたい場合は個別にご相談下さい。	留学期間は、1年間です。HSoGの授業期間は、秋学期は、9月第1週より12月まで、春学期は、1月下旬から5月です。 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の秋学期から1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年半GraSPPに在籍。2年生の9月(秋学期)から1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※GraSPPに1年間在籍し、コア科目の履修を全て終えていることが必須条件となります。	留学期間は、1年間です。LSEの授業期間は3ターム制で、9月～12月がMichaelmasターム、1月～3月日がLentターム、4月～6月がSummerタームです。尚、10月31日と2月13日から読解週間を設けている部局有。 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の秋学期から1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年半GraSPPに在籍。2年生の9月(秋学期)から1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※GraSPPに1年間在籍し、全コア科目含め24単位以上を取り終えていることが必須条件となります。	留学期間は、1年間です。ANU-CRWFの授業期間は、学期2は7月第3週より11月末まで、学期1は2月から6月までです。(派遣生は遅くとも授業開始までに渡航する必要が有るが、東大での試験日程等の調整は自己責任。) (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の夏休みから1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年3カ月GraSPPに在籍。2年生の夏休みから1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※4月入学者が、計2年間でDDを修了するコースは基本GraSPPとしては推奨していませんが、詳細を知りたい場合は個別にご相談下さい。	留学期間は原則1年次の1年間です。Sciences Po.の授業期間は、秋学期は、9月第1週より12月まで、春学期は、1月下旬から5月です。 【2016年4月入学の場合】 4月(春学期)に東京大学に入学後、半年間GraSPPに在籍。1年生の9月(秋学期)から1年間留学し、2年生の秋学期を再びGraSPPで過ごし、計2年で修了可。 【2016年9月入学の場合】 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学後、すぐに留学し1年目をSciences Poにて過ごし、2年生の秋学期から1年間GraSPPに在籍し、計2年で修了可。 ※すでにGraSPPに在籍している学生が、2年次にシアンスポへのDD留学を希望する場合は、個別にご相談下さい。
留学期間は、1年間です。SIPAの授業期間は、秋学期は9月第1週より12月まで、春学期は1月下旬から5月です。GraSPPとして以下のコースを推薦しています。 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の秋学期から1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年半GraSPPに在籍。2年生の9月(秋学期)から1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※4月入学者が、計2年間でDDを修了するコースは基本GraSPPとしては推奨していませんが、詳細を知りたい場合は個別にご相談下さい。	留学期間は、1年間です。LKYSPPの授業期間は、秋学期は8月第2週より12月まで、春学期は1月上旬から5月上旬までです。 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の秋学期から1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年半GraSPPに在籍。2年生の9月(秋学期)から1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※4月入学者が、計2年間でDDを修了するコースは基本GraSPPとしては推奨していませんが、詳細を知りたい場合は個別にご相談下さい。	留学期間は、1年間です。HSoGの授業期間は、秋学期は、9月第1週より12月まで、春学期は、1月下旬から5月です。 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の秋学期から1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年半GraSPPに在籍。2年生の9月(秋学期)から1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※GraSPPに1年間在籍し、コア科目の履修を全て終えていることが必須条件となります。	留学期間は、1年間です。LSEの授業期間は3ターム制で、9月～12月がMichaelmasターム、1月～3月日がLentターム、4月～6月がSummerタームです。尚、10月31日と2月13日から読解週間を設けている部局有。 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の秋学期から1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年半GraSPPに在籍。2年生の9月(秋学期)から1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※GraSPPに1年間在籍し、全コア科目含め24単位以上を取り終えていることが必須条件となります。	留学期間は、1年間です。ANU-CRWFの授業期間は、学期2は7月第3週より11月末まで、学期1は2月から6月までです。(派遣生は遅くとも授業開始までに渡航する必要が有るが、東大での試験日程等の調整は自己責任。) (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学し、1年間GraSPPに在籍。2年生の夏休みから1年間留学し、計2年で修了可。 (B) 4月(春学期)に東京大学に入学し、1年3カ月GraSPPに在籍。2年生の夏休みから1年間留学し、計2.5年又は3年で修了可(2.5年で卒業の場合は要届出)。 ※4月入学者が、計2年間でDDを修了するコースは基本GraSPPとしては推奨していませんが、詳細を知りたい場合は個別にご相談下さい。	留学期間は原則1年次の1年間です。Sciences Po.の授業期間は、秋学期は、9月第1週より12月まで、春学期は、1月下旬から5月です。 【2016年4月入学の場合】 4月(春学期)に東京大学に入学後、半年間GraSPPに在籍。1年生の9月(秋学期)から1年間留学し、2年生の秋学期を再びGraSPPで過ごし、計2年で修了可。 【2016年9月入学の場合】 (A) 9月(秋学期)に東京大学に入学後、すぐに留学し1年目をSciences Poにて過ごし、2年生の秋学期から1年間GraSPPに在籍し、計2年で修了可。 ※すでにGraSPPに在籍している学生が、2年次にシアンスポへのDD留学を希望する場合は、個別にご相談下さい。							
費用	前述のように、留学期間中の授業料は、留学先大学に対して支払い、東京大学では授業料免除の扱いを受けます。留学中の住居費、生活費、学生保険、施設利用料など、留学生として当然かかる経費はすべて自己負担となります。生活費や住宅事情は留学先により大きく異なりますので、各自リサーチをしてください。											
取得可能学位	Master of Public Administration (MPA) Master of International Affairs (MIA) https://sipa.columbia.edu/academics/programs/mia-mpa-prospective-students	Master of Public Policy (MPP), Lee Kuan Yew School of Public Policy http://lkyspp.nus.edu.sg/admissions/graduate-programmes/master-in-public-policy-mpp/	Master of Public Policy (MPP) http://www.hertie-school.org/mpp/	Master of Public Administration (MPA), LSE Institute of Public Affairs http://www.lse.ac.uk/IPA/Home.aspx	Master of Public Policy (MPP) Master of Public Administration (MPA) https://crawford.anu.edu.au/study/graduate-degrees	Master of Public Policy (MPP), Sciences Po. http://www.sciencespo.fr/public/en/content/master-public-policy						
参考HP	学生寮への申請はできますが、民間のアパートも含め、早めにリサーチをするようにしてください。Columbia University International Program and Services: https://sipa.columbia.edu/students/student-life-community/housing	学生寮は、抽選制です。このほか、学生専用の寮(一軒家をシェアする)も大学の近くにあり、寮の費用は日本円でひと月約6~7万円です。	HSoGには学生寮がないので、自分で探さなければなりません。下記のサイトのハウジング情報から、早めにリサーチするようにしてください。 http://www.hertie-school.org/campus/student-services/housing/	学生寮への申請はできますが、民間のアパートも含め、早めにリサーチをするようにしてください。 The LSE Residential Service Office: http://www.lse.ac.uk/lifeAtLSE/accommodation/forStudents/home.aspx	学生寮への申請はできますが、民間のアパートも含め、早めにリサーチをするようにしてください。 https://crawford.anu.edu.au/study/student-life/accommodation-living-costs	シアンスポには学生寮がないので、自分で探さなければなりません。下記のサイトのハウジング情報から、早めにリサーチするようにしてください。特に、フランス学生ビザの申請には、住居証明が必要になりますので、5月頃には住居を確定していることをお勧めします。 http://www.international.sciences-po.fr/en/living-france						
アカデミックカレンダー	http://bulletin.columbia.edu/sipa/registration/academic-calendar/	http://lkyspp.nus.edu.sg/admissions/graduate-programmes/master-in-public-policy-mpp/mpp-curriculum/	http://www.hertie-school.org/campus/student-services/incoming-students/academic-calendar/	http://lisedesignunit.com/GraduateProspectus2015/	http://www.anu.edu.au/directories/university-calendar	http://formation.sciences-po.fr/en/contenu/university-calendar						